



カレイド・トーンのきらめき
ハーモニアス室内管弦楽団
第7回定期演奏会



指揮
大友 直人

©Rowland Kirishima

日本のオーケストラ初の快挙！
第21回
ジョルジュ・エネスク
国際音楽祭
招待記念演奏会

芥川也寸志：

弦楽のためのトリプティック

アンドレ・ジョリヴェ：

フルートと弦楽のための協奏曲第1番

ジョルジュ・エネスク：

弦楽八重奏 op.7

演奏

ハーモニアス室内管弦楽団

コンサートマスター チプリアン・マリネスク



フルート

イオン・ボグダン・ステファネスク

2013

8/23(金) 19時開演
(18時30分開場)

Izumi Hall いずみホール

大阪府大阪市中央区城見1丁目4-70 住友生命OBPプラザビル 06-6944-2828 <http://www.izumihall.co.jp>

入場料:S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 (消費税込) 全席指定

※未就学児童の入場はご遠慮下さい。
※ビデオ収録がある場合がございますので、ご了承下さい。

チケット販売：いずみホールチケットセンター TEL.06-6944-1188(電話受付10:00~17:30/窓口受付10:00~17:30/日曜祝日は休業)。

チケットぴあ TEL.0570-02-9999(Pコード 205-441) 国際ヒューマニティ音楽協会 TEL.080-3768-2840

IKEYAMAオフィス池山 TEL.075-251-1771

主催：特定非営利活動法人 国際ヒューマニティ音楽協会

<http://gmh-jp.org> rkimoto@gmh-jp.sakura.ne.jp

後援：ルーマニア大使館 国際交流基金 いずみホール

協力：IKEYAMAオフィス池山

ジョルジェ・エネスク国際音楽祭(<http://festivalenescu.ro/en/>)
ルーマニアが生んだ世界的なヴァイオリニスト・作曲家であり、国民的英雄として現在もルーマニア紙幣にその肖像画が使われている「ジョルジェ・エネスク(1881-1955)」の名前を冠したこの音楽祭は、ヨーロッパ屈指の一流オーケストラや世界を代表するソリスト・指揮者を招待して、ブカレストにおいて2年に一度、1ヶ月間にわたり9月に開催される。第21回を迎える今回のプログラムも豪華絢爛で、オープニングではダニエル・バレンボイム指揮のベルリン国立歌劇場オーケストラ(シュターツカペレ・ベルリン)とラドゥ・ルプーによるピアノ協奏曲に始まり、パリ管弦楽団、ロンドン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボー、アカデミー室内管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、など連日にわたり演奏が繰り広げられ、世界から数十万人の観客がブカレストに集う。ヨーロッパ以外からはピッツバーグ交響楽団(米国)と日本のオーケストラとして初めてハーモニアス室内管弦楽団が招待された。

日本のオーケストラ初の快挙! 第21回 ジョルジェ・エネスク 国際音楽祭 招待記念演奏会



©Rowland Kirishima

大友 直人 指揮

現在、群馬交響楽団音楽監督、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団ミュージックアドバイザー。また、2004年から8年にわたり、東京文化会館の初代音楽監督を務めた。在京オーケストラの定期演奏会にとどまらず、これまでにコロラド交響楽団、インディアナポリス交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団などに招かれ、2012年3月にはハワイ交響楽団のオープニングコンサートを指揮、同年6月にはロレーヌ国立管弦楽団の定期公演に客演。絶賛を博し、欧米での活躍にも大きな期待が寄せられている。オペラにも力を入れており、1988年日生劇場における《魔弾の射手》でのオペラデビュー以来、オペラの指揮も高く評価されている。特に、2006年ブッチェニ音楽祭にて三枝成彰作曲オペラ《Jr.バタフライ》や、2013年1月には三枝成彰作曲オペラ《KAMIKAZE-神風-》世界初演を行い、大きな話題となった。クラシックと他のジャンルとのコラボレーションによる新たな音楽シーンを発信している。クラシック専用ホールである東京文化会館でポピュラー・コンサートをプロデュースしたり、既成のジャンルや表現形式に捉われない新しい形の舞台芸術をプロデュースするなど、音楽プロデューサーとしても新しい音楽シーンを牽引している。教育的活動にも力を注ぎ、「こども定期演奏会(東京交響楽団)」を行うほか、国際音楽セミナー「ミュージック・マスタース・コース・ジャパン」を盟友である指揮者アラン・ギルバートと毎年開催するなど、活発な活動を行っている。2000年第8回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2008年第7回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。



イオン・ボグダン・ ステファネスク フルート

1969年ルーマニア生まれ。14歳でソリストとしてデビュー後、イリノイ大学大学院でAlexander Murrayに学ぶ。また、Alain Marion, Wolfgang Schulz, Pierre Yves Artaud, James Galwayに師事した。現在、ジョルジェ・エネスク・フィルハーモニー首席フルート奏者。ルーマニア国内以外でも、イギリス、フランス、スペイン、チェコ、ドイツ、米国など世界各地での幅広い演奏活動を行っており、また、数多くのテレビ出演、CD録音などを手がけている。



ハーモニアス室内管弦楽団

特定非営利活動法人 国際ヒューマニティ音楽協会の中核をなすオーケストラ。関西における優れた若手演奏家の支援を目的として、コンサートマスターにルーマニア出身のチプリアン・マリネスクを招請し、第一線で活躍する演奏者が集う室内管弦楽団として設立。翌年、2009年9月「いずみホール」において「第1回ハーモニアス室内管弦楽団定期演奏会」にて鮮烈なデビューを飾った。現在までに、いずみホールにて「ハーモニアス室内管弦楽団定期演奏会」を年2回のペースで行い、関西の音楽ファンから、その鮮烈で清新なハーモニーを例えて、万華鏡のようなカラフルな音色と言う意味で「カレイド・トーンのきらめき」と評され、欧米の一流オーケストラに伍する、世界トップレベルの室内管弦楽団として注目を集めている。2011年10月1日の定期演奏会では、大友直人の指揮により、欧米の一流オーケストラでも困難とされるモーツァルトの三大交響曲の連続演奏を成し遂げ、その一体感のあるアンサンブルの精度の高さに、多くの賞賛の声を得た。さらに、2012年7月30日のコンサートでは、ロイヤル・コンサートヘボー・コンサートマスターのリヴィウ・ブルナル氏を招待し、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を協演し、ソリストとオーケストラの音が変幻自在に紡ぎ合う協奏曲の魅力を余すところなく披露した。

ジョルジェ・エネスク国際音楽祭招待メンバー (順不同)

Concertmaster	チプリアン・マリネスク
Violin	上里 はな子 田村 安祐美 佐久間 聡一 釈 伸司 栗山 奈津 浅野 彩 小島 燎 中川 敦史 岩瀬 晴子 川瀬 陽子 赤穂 夫美 竹内 麻理子 堀江 恵太
Viola	ザザ・ゴグア 大江 のぞみ 遠藤 章子 山本 成
Cello	向井 航 山口 真由美 林 裕
Contrabass	神吉 正